

科目名	ベーシックレッスン2							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(ギター) 1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	松居悠太・野村大輔		教員の実務経験	有	実務経験の職種		ミュージシャン		

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックギン等々を学び自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンド、ヴォーカルとのアンサンブルなどのトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【到達目標】

- アドリブ演奏の方法論を理解できる
- セッションにおける進行、方法論を習得できる
- DTMの基礎を習得できる
- 課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。
- アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考えから、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	アドリブ演奏の方法論を理解でき、ミスのない演奏ができる		アドリブ演奏の方法論を理解できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 B	セッションにおける進行、マナーを習得でき、ミスのない演奏ができる		セッションにおける進行、マナーを習得できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 C	DTMの基礎を習得でき、簡潔に説明できる		DTMの基礎を習得できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 D	課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		到達目標についてさらなる努力が必要

【教科書】

ギター： エレキギターバックギンのアイデア”即戦力”135

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2026
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン2							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(ベース) 1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	満園庄太郎・永田範正		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学び自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンド、ヴォーカルとのアンサンブルなどのトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【到達目標】

- A. アドリブ演奏の方法論を理解できる
- B. セッションにおける進行、方法論を習得できる
- C. DTMの基礎を習得できる
- D. 課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。
- E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考えから、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	アドリブ演奏の方法論を理解でき、ミスのない演奏ができる		アドリブ演奏の方法論を理解できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 B	セッションにおける進行、マナーを習得でき、ミスのない演奏ができる		セッションにおける進行、マナーを習得できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 C	DTMの基礎を習得でき、簡潔に説明できる		DTMの基礎を習得できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 D	課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		到達目標についてさらなる努力が必要

【教科書】

ベース： はじめてのジャズベース

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2026
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン2							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(ドラム)1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	麻生祥一郎・山口岳・伊東かの子		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学びアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンド、ヴォーカルとのアンサンブルなどのトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【到達目標】

- アドリブ演奏の方法論を理解できる
- セッションにおける進行、方法論を習得できる
- DTMの基礎を習得できる
- 課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。
- アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考えから、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	アドリブ演奏の方法論を理解でき、ミスのない演奏ができる		アドリブ演奏の方法論を理解できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 B	セッションにおける進行、マナーを習得でき、ミスのない演奏ができる		セッションにおける進行、マナーを習得できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 C	DTMの基礎を習得でき、簡潔に説明できる		DTMの基礎を習得できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 D	課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		到達目標についてさらなる努力が必要

【教科書】

ドラム：Progressive Steps to Syncopation for the Modern Drummer

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2026
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン2							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(キーボード)1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	堀越昭宏・杉本清隆・丸木美花		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックアップ等を学び自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンド、ヴォーカルとのアンサンブルなどのトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【到達目標】

- A. アドリブ演奏の方法論を理解できる
- B. セッションにおける進行、方法論を習得できる
- C. DTMの基礎を習得できる
- D. 課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。
- E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考えから、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	アドリブ演奏の方法論を理解でき、ミスのない演奏ができる		アドリブ演奏の方法論を理解できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 B	セッションにおける進行、マナーを習得でき、ミスのない演奏ができる		セッションにおける進行、マナーを習得できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 C	DTMの基礎を習得でき、簡潔に説明できる		DTMの基礎を習得できる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 D	課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		到達目標についてさらなる努力が必要

【教科書】

キーボード： キーボードバックアップのアイデア”即戦力”138

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン2			年度	2026
英語表記		Basic lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等